

項目		単位	2021年度	2022年度	2023年度
気候変動対応・ 省エネルギーへの取組み	原油換算エネルギー使用量	kL	13,757	14,063	13,437
	CO ₂ 発生量	t-CO ₂	24,996	24,976	24,816
	エネルギー原単位（注1）	L/km	41.1	42.6	44.8
省資源・ 廃棄物削減への取組み	総水資源投入量（注2）	千 t	597	582	598
	総排水量	千 t	488	470	483
	総物質投入量	t	35,017	35,064	33,624
	総廃棄物量	t	4,911	5,112	4,803
	廃棄物最終処分量	t	1,430	1,162	690
	廃プラスチック排出量	t	2,678	2,843	2,763
	廃プラスチック再資源化量	t	1,544	1,895	2,141
	廃プラスチック最終処分量	t	1,134	948	621
	廃プラスチック有効利用率	%	58	67	78
化学物質排出削減 への取組み	PRTR 対象物質総排出量（注3,4）	t	412	390	330
	PRTR 対象物質総移動量（注4）	t	211	214	198
環境関連商品（注5）	売上高占有率	%	33.4	34.0	38.5

項目		2021年度	2022年度	2023年度
CDP への回答・スコア（注6）	総合評価	—	C	B-
	事業戦略、財務計画、シナリオ分析	—	C	B
	排出削減への取組みと低炭素製品	—	C	A
	エネルギー	—	C	C
	ガバナンス	—	C	D
	機会の開示	—	C-	B
	リスクの開示	—	C	B
	リスク管理プロセス	—	C	A
	スコープ1及び2の排出量	—	C	B-
	スコープ3の排出量	—	C	B-
	目標	—	C	C
	バリューチェーン・エンゲージメント	—	C	C

注1) 2023年4月の省エネ法改正により、エネルギー消費原単位の算定方法が変更されましたが、取組みの継続性を確保するため、改正前の算定方法による数値を記載しています。

注2) 本項では自社で取水した水（水道水、工業用水、地下水）の総量を記載しています。原材料供給会社が取水し当社が原材料として使用した水については、把握方法の検討をしています。

注3) PRTR法：化学物質排出把握促進法

注4) 2023年度よりPRTR法の第一種指定化学物質（特定を含む）は462物質から515物質へ変更されています。

注5) 弊社では、「地球環境と生活環境に配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

注6) CDP(Carbon Disclosure Project)とは英国の非政府組織（NGO）で、企業が気候変動に関する情報開示を行うためのプラットフォームです。2022年度よりCDPへの回答に取り組んでいますので2021年度以前はスコアがありません。